

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 155 号 2011. 3. 25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

自然米で肺の病気が回復！

足立区 野澤 政代



1月末から2月12日まで、肺の重病にかかったときのことで。息が吸えなくなり、呼吸が浅く、食欲がなくなりました。医師より「片肺の3分の2は真っ白で、結核か肺ガンの疑い」との診断を受けました。それから、自然治癒力を増させるという代替医療を、知人に自宅に来てもらい何度も受け、「今日は何も食べられない」という話をすると、早速、自然農法のお味噌やお米を届けてくださいました。このご飯はおいしくて、軽く、不思議にも一膳完食できました。すると、それまで横にも縦にもできなかった体がシャンとして、しっかりとした姿勢をとることができるようになりました。

それを機に、メキメキ体力がついて、肺の中まできれいになっていったようです。その後の医師の診断では「不思議だ。あなたの治癒力が治したとしか思えない」と驚かれるほどでした。

本当に有り難かったです。自然農法の食物の素晴らしさを、心の底から感じさせていただきました。

TOREK 自然農法 稲作交流会

五三会農園係 穴戸 徹

TOREK 自然農法にて稲作を実践されている方々の交流会が、3月5日に八王子で開催されました。

この日はまず TOREK の自然農法、すなわち岡田茂吉師の提唱した「自然農法」とはいかなるものであるか、について改めて確認し、「自然」という言葉に込められた師の思いを皆で考えてゆきました。

そして、TOREK が行っている自然農法活動の様子についての報告や、実施者からは、近況のお話などがあり、それぞれの稲作への思い、苦勞などが語られました。

稲作実施者の方々は長野県や栃木県、福井県など遠方にお住まいの方も多く、普段なかなか皆で集まる機会がないので、このように仲間たちと会って話せるというのは、とても心強いという声もあり、また消費者の方々からの感謝の声を励みに、日々がんばっておられたり、注文していただいた方の笑顔を思い描きながら、作業に汗を流している、という声も聞かれました。

また、販売に携わられている方からは、最近是一般の消費者でも食について関心を持っている人が増え、自然農法の作物の話に興味を持ってもらえるようになってきた、というお話もありました。

今日の日本の経済状況、とりわけ農業経営の実情はとても厳しいものがあります。しかし、そうした中で農業に従事し、自然農法活動をされている方々の心には、農業とは単なる経済活動を超えたものである、という思いがあるのです。そうした方々がいるおかげで、私たちは自然の作物を食べることができるのだ、と改めて思いました。人々の健康と幸せを願う生産者の方々の心が、多くの人々に伝わり、そしてこの活動が広まっていくように、自分自身も努めてゆきたいと強く思いました。

畑作交流会で種の大切さ学ぶ！



3月21日、畑作交流会が八王子にて行われ、ホットニュース取材チームとして参加しました。

各地の自然農法実施者が参加し、稲作交流会同様、まずは責任者から「TOREK 自然農法とは何か」についての話を伺い、あとは簡単に、各自の取り組みの現状について話を出し合いました。

その中でも、実施者の方々は、これは何度も話に出ていますが、自家採種や、リンゴなど果樹においては苗木に、強い思いをもつ

ていました。これまで、先人から受け継いでいる種もあり、また、新たに種作りに取り組み、それを後世に伝えていく必要があるとのことでした。ある方は、自分たちが体力的に農業ができなくなったとしても、「SEED BANK のようなものがあれば、種を引き継いでいける」という夢を語っていました。



確かに昨年、私も秋の農産展で自家採種の大根の種をもらい、数人の方と協力し、建物の狭い敷地に20本弱植えました。すると今年に入ってしっかり育ち、胸をなでおろすとともに、その味の良いこと、口にスツと入り、しみわたり、何か平和な感覚を覚えたものです。以前、新潟の被災地で花を飾ったら、被災者の心が和んでいった、という話を聞きましたが、このような作物があったら、心の平和に役立つのではないかと思います。世の中を良くするには色々な方法があると思いますが、ひとつこの食を良くしていくことは大事なことで気づかされました。

まだまだ自然農法の普及は大変なことですが、いつか皆がその大切さに気づくという夢に向かって、それぞれできることに取り組んでいくことが必要だと思いました。そのひとつに種を引き継いでいくことが含まれると学びました。(編集部:針貝)

頒布会、自然農法普及の予感

2月27日(日)、東中野会場の頒布会に行きました。

この日は今までになく、TOREK 会員でない一般の方が多く来店しました。前日に、スタッフが会場前で頒布会の準備をしていたときに、通りかかった方々に声をかけたところ、その中のある方が、当日「ぜひ欲しい」と開店前から並んだとのことでした。

また有志の方々が、頒布会のことを知らせようと、かごいっぱい自然農法の野菜を持って、頒布会のチラシを駅前などで配布しました。すると、関心を持つ方が多く、すぐに会場へ向かう人がいたり、「今日は行けないけど、次はいつ?」と聞かれたりしました。



試食コーナーでは、ダイコンおろしの食べ比べをしました。市販のダイコンのほうは、おろすと無駄に水分が多い感じがしますが、食べると甘みはありました。甘いほうがおいしいと感じる人もいますが、わかる人はわかるらしく、実のしっかりした自然農法のダイコンを食べて、「本当のダイコンってこうよね!」とはっきり言われる方もいたそうです。

試食のスタッフは、「お客さんとお話することで、こちらが今まで気づかなかったことを教えてもらうこともある。自然農法に対する意識を向上させるコーナーになっていけたらいいな」とのこと。

フライドスイートポテトは今回も好評で、試食して通り過ぎかけたけど、戻ってきて買う人や、追加購入しに再び来店する人などいて、担当スタッフも「そうとうおいしいらしい」と言っていました。

会場2階では、五三会のお米のおむすびと、自然素材のお味噌汁、ほうじ茶などを味わう人でにぎわっていました。今後さらに、自然農法の素晴らしさを楽しく伝えられる頒布会になっていけそうな予感のする、充実した一日でした。(編集部:田村)

お知らせ

自然農法頒布会 4月15日(金) 鎌ヶ谷会場 11:00~ (売り切れ次第終了)

無施肥無農薬栽培物の販売予定

4月3日 於: 伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。

東京都八王子市長房町57 042-665-6369

- きじま平自然農産: 黒豆納豆、きじま弁当
- 市川生産グループ: 煎茶、ほうじ茶、みかんジュース
- 長柄山自然農園: 卵、しいたけ
- ジョリフィーユ: シュークリーム、ほうじ茶プリン、マドレーヌ ほか
- 飯塚農園: みそ
- 中島農園: ふきのとう、ノビル

お問い合わせ先: 編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>